

東京教区時報

第1193号
2011年1月30日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

どもたちのことを思い、一生懸命に治療にあたっておられます。或る看護師さんは「私自身、子どもを授かりその子を愛して育てていますが、それ以上に病棟の

重い病気になる子どもたちも共に、つらい日々を過ごさなければなりません。そのような人たちのために、病室を訪れ、一日も早い快癒を祈り、励まし、慰めの言葉を掛けることなどを行っています。

《み手のなかで》

小さな命を見つめて

三 路 村 米 祭 司
亡くなった子どもたちを覚え続けるために、毎年12月の「聖なる幼子の日」に、チャペルでケビン司祭や、医療スタッフ全員と共に、その年に亡くなった子どもたちの靈魂の平安を祈る礼拝を続けています。

私にこのような子どもたちとの出会いを与えてくださった神様に感謝する日々を送っています。

亡き児らの冥福祈る夜寒し

(退職・聖路加国際病院チャプレン)

- ◇1月の代禱・信施奉献先
 - ▽主教座聖堂の働きのため▽エルサレム教区の働きのため▽視覚聴覚障害者伝道のため▽聖救主福祉会(深川愛の園・まこと保育園・善福寺愛の園)のため▽タイチェンマイのHIV/AIDSの方々・難民・移民の自立支援のため
- ◇2月の代禱・信施奉献先
 - ▽「信教の自由」を抑制されている人々のため(2月11日に近い主日)▽ハンセン病問題啓発の日(顕現後第6主日2・13)▽聖公会生野センターのため(2・27)(3月1日に近い主日)▽深川・キッドスクール(幼稚園)のため▽ぶどうのいえのため▽中部教区可児ミッションの働きのため
- ▽2月聖路加国際病院礼拝堂
 - 《夕の祈り》 2日(水) 18時半、

今週・来週の予定 1月30日~2月12日

| | | | | | | | | |
|---------|--|-------|-----------|------|-----------|------|-----------|---|
| 30(日) | 顕現後第4主日 被献日前の光の礼拝 下町G教会協議会 多摩G教会協議会 多摩G牧師協議会 | 1月11日 | 鈴木 幸子(63) | 1月9日 | 神谷葉満子(88) | 1月7日 | 稲垣 照子(84) | オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者 モニカ・メルツォーヴァ。入場無料(会場献金)。 |
| 31(月) | 人権:日の丸・君が代 | 1月11日 | 聖マーガレット | 1月6日 | 中野ゆう子(87) | 1月7日 | 三光 | ◆としえの平安 |
| 2月 | | 1月11日 | 池袋 | 1月6日 | 三光 | 1月7日 | 三光 | |
| 2(水) | 被献日 | 1月11日 | 聖マーガレット | 1月6日 | 池袋 | 1月7日 | 池袋 | |
| 3(木) | エルサレム教区協働委員会:女性部会 信仰と生活:こども聖歌 | 1月11日 | 関口福二郎(86) | 1月6日 | 池袋 | 1月7日 | 池袋 | |
| 6(日) | 顕現後第5主日 | 1月11日 | 三光 | 1月6日 | 池袋 | 1月7日 | 池袋 | |
| 7(月) | 分担金…特別委員会 | 1月11日 | 三光 | 1月6日 | 池袋 | 1月7日 | 池袋 | |
| 8(火) | 銀座朝教会 | 1月11日 | 三光 | 1月6日 | 池袋 | 1月7日 | 池袋 | |
| 11(金・休) | 主教按手式 (香蘭女学校) | 1月11日 | 三光 | 1月6日 | 池袋 | 1月7日 | 池袋 | |

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

信仰と生活委員会報告

(1月20日)

* 宣教主事報告、各委員会・教会グループ等の報告。

* 「信仰と生活委員会」委員の補充について報告。

* ブックレット『裸足の宣教』出版・配布状況報告と今後の計画について協議。

* 「こども聖歌集」編纂に向けて「こどもの聖歌を歌う会」を実施の方向で検討。

* 今年度の活動と方針について

司祭 アンデレ 大畑喜道

主教按手式・東京教区第9代教区主教就任式

日時 2011年2月11日(金・休)午後1時

日本聖公会組織成立記念日

場所 香蘭女学校(東急大井町線・池上線「旗の台駅」下車)

* 按手式後茶話会の片付けボランティアを募集中(照会は教区事務所)

協議

* 中高生キャンプは実施する。

▽ 2012年日本聖公会宣教協議会東京教区準備委員会 昨

年のプレ宣教協議会出席者、司祭大畑喜道(正義と平和協議会

議長)、司祭卓志雄(青年担当)、黒澤圭子(常置委員・書記)、横倉正義(当時財政

委員長)、浅見国貴(信仰と生活委員)と新たな選出メンバー、司祭中川英樹、司祭神崎和子(委員長)、下泉小波、五

十風美奈、元津毅の10人が決まり17日(月)第1回委員会を開催。10年プレ宣教協議会の課題・状況などの共有と、今後の進め方その他を協議した。

▽ オルターギルド宿泊研修会

『手』『祈る手』『仕える手』

日常生活の中で主とともに生きるために祈りの備えを…と、教区

礼拝音楽委員会主催で2月18日(金) 14時～19日(土) 15時。

2日間参加・宿泊可能な方。講師

|| 成成鍾司祭(聖公会神学院チャレン)、会場|| イエズス会鎌倉

黙想の家、内容|| 講話と黙想、聖公会のロザリオ作りと用い方・祈り方、聖餐式。参加費|| 7千5百

円(1泊3食)。申込期限|| 2月13日(定員20名で締切)。申込・

照会|| 教区事務所。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】74

教会とボーイスカウト

昨年8月静岡県富士宮市朝霧高原で、第15回日本ジャンボリーが開催され、全国のボーイスカウト2万人が一堂に集い4年に1度の野外キャンプが開催されました。

その中に平和の日というところでキリスト教、仏教、神道などそれぞれの宗派での行事があり、日本聖公会も大畑喜道司祭の司式で、久留米聖公会、広島復活教会、堺聖テモテ教会、東京聖十字教会、聖アンデレ教会などのスカウト、指導者が野外での礼拝を行いました。ボーイスカウト運動は、健全な青少年を育成するため、野外活動を通じ、自発的な活動を促し、奉

仕の精神を養い、明確な信仰心を持たせることが目的であります。そのために、毎回ジャンボリーの時には必ず宗派ごとに礼拝を行っているのです。日本聖公会には、ボーイスカウトの活動を支援するために、「スカウト指導者協議会」があります。現在東京教区では聖アンデレ教会と練馬聖ガブリエル教会、全国では久留米、京都、藤沢など9教会でボーイスカウトの活動を行っています。

ボーイスカウトの創始者ベーンパウエルは、英国聖公会の信徒でした。約百年前教会に行かない子どもたちを嘆き、子どもたちの興味のある野外活動や、ゲームを通じ信仰心を持ち、社会に役立つ子どもを育成

したいという願いで、始めたのがこの運動です。したがってボーイスカウト運動は教会に通ったことのない子どもたちの入り口として、宣教の大切な器となるものと考えております。またボーイスカウトの活動は子どもだけではなく、両親にもバザーのお手伝いや集会の補助など、一緒に活動することをお願いしており、その結果教会の活動に参加するようになった方も、少なくありません。今後一つでも多くの教会にボーイスカウトが出来ることを、私たちは願っております。ボーイスカウトに参加を希望する方はどうぞご連絡ください。

スカウト協議会事務局

藤波勝久